

ミャンマー資本市場活性化支援計画(MyanmarLIST) プログレスレポート概要

平成30年9月9日
金融庁・大和証券グループ・日本取引所グループ

背景

- 今般、9月9日に開催された「第2回YSXエキスポ」に越智副大臣が基調講演する機会を活用し、本年1月に手交したミャンマー資本市場活性化計画のこれまでの取組みをまとめた「**プログレスレポート**」をマウン・マウン・ウィン計画財務副大臣に手交。



プログレスレポートの手交(9月9日)

- 同プログレスレポートを踏まえ、ミャンマー資本市場活性化に向けた更なる支援のため、資本市場関係者と協議を実施。



YSXロゴ

※日本は緬資本市場発展のために、**切れ目なく地道な支援を官民を挙げて継続**。2015年12月には、**ヤンゴン証券取引所(YSX)の設立に貢献**。

本年1月には、金融庁・大和証券グループ・日本取引所グループの3者間で、官民一体となった包括的なミャンマー資本市場活性化支援計画(**LIST (Listing + Investment Strategy and Timeline) for Myanmar's Future**)を策定。本年1月に、村井政務官からマウン・マウン・ウィン計画財務副大臣に手交。

※2016年11月に両国首脳間で発表された「日緬協力プログラム」においても、「官民連携した資本市場計画の策定」が明記。



計画の手交(1月25日)

プログレスレポート概要

フォローアップ

- ヤンゴンにおいて、**「Myanmar-Japan Joint-Committee (MJJC)」**を立上げ。毎回マウン・マウン・ウィン副大臣の出席を得つつ、ミャンマー証券取引委員会(SECM)・YSX・大使館・JICAが連携し、これまで4回の会議を実施。計画の進捗管理や課題について、共通認識を醸成。
- 東京においても、金融庁・大和証券グループ・日本取引所グループ(JPX)が、現地の活動状況を共有。6月のマウン・マウン・ウィン副大臣訪日時にも、協議を実施。



東京での協議(6月8日)

上場企業増加 上場支援専門タスクフォースを立上げ、上場候補企業を38社訪問し、企業診断・助言・パイプライン案件の形成を実施。YSX内に上場相談室を設立、企業からの問い合わせ等に対応 等

投資家層拡大 ヤンゴンや地方都市でセミナーを25回以上開催し、1000名以上の受講者。大規模IRイベント「YSXエキスポ」の実施。外国人投資家参入に向けた制度整備支援やセミナーを開催 等

人材育成 グローバル金融連携センター(GLOPAC)、大和日緬基金、JICA/JPXが、来年3月までにSECM(ミャンマー証券取引委)・YSX・現地証券会社職員・会計士等約50名に日本で短期・長期の研修を提供 等

制度改正 OECDと連携しつつ、ミャンマーのコーポレート・ガバナンス向上に向けた取り組みを支援。制度改正等について、金融庁からSECMに派遣中のJICA専門家が日常的に支援 等